

防災事業に関する取組事例シート

市町村名：和泉市
 所属名：市長公室公民協働推進室危機管理担当
 連絡先：0725-99-8104
 シート作成年月：令和4年3月

事業	コミュニティタイムライン
タイトル	コミュニティ（地域）タイムラインの作成
概要	町会（自治会等）や自主防災組織単位で地域版タイムライン（風水害編）の作成を促進し、確実な避難行動が行えるよう作成支援を行っている。

コミュニティタイムラインとは、台風等の影響による大雨によって引き起こされる「洪水」や「土砂災害」の場合、気象情報からあらかじめ台風最接近（雨が強く降るとき）の時間を予測することができます。
 1番危険な時間帯を予測できれば、災害が発生する前に事前の備えをして避難することにより身の安全を確保することが可能です。
 しかしいざという時にいつ、誰が、何をするのかを分かっているなければ、意味がありません。

そこで、災害発生に備えて「個人」と「コミュニティ（地域の）タイムライン」です。

「いつ」「誰が」「何をするのか」を時系列に整理したものが「コミュニティタイムライン」です。

内容

【例】和泉市 ●●●自治会 コミュニティ（地域版）タイムライン【風水害編】			
気象状況	気象注警報や防災情報	避難に関する情報	●●●町会●●●自治会●●●自主防災組織等及び住民の防災行動
大雨の1～2日前	気象庁や大阪府の情報 台風経路や大雨に関する情報 早期注意情報【警戒レベル1】	和泉市からの情報 □気象や防災情報収集 □市民に防災行政無線やいすみメール、LINE、ホームページ等で防災情報を提供 □消防団、自治会、自主防災組織に注意喚起	町会長・自治会長・自主防災組織会長等 町会役員・自治会役員・自主防災組織役員等 住民 □危険箇所の再確認（側溝等確認） □資機材の準備・点検 ①発電機・トランシーバー・ランタン等の検討（使用可能な確認作業） ②新型コロナウイルス対策資機材（消毒液・マスク・体温計・ゴミ袋等） □避難者の受け入れ体制の検討（新型コロナウイルス感染症予防対策） □市からの情報を住民へ伝達する方法の確認（TEL・LINE・メール等） □市の指定避難所までの避難経路確認
大雨の半日～数時間前	大雨・洪水注意報【警戒レベル2】	警報発令 □避難所開設 □避難所開設情報を市民へ周知 □自主避難者の受け入れ	□あらかじめ決めた集合場所に集合（例：●●●自治会館） □避難行動要支援者・高齢者等の避難の検討 □避難者の受け入れ体制の検討 □市の指定避難所までの避難経路確認
雨の強さが増す	大雨・洪水警報	大津川 桐尾川 氾濫警戒情報	□あらかじめ決めた集合場所に集合（例：●●●自治会館） □避難行動要支援者・高齢者等の避難の検討 □避難者の受け入れ体制の準備 □新型コロナウイルス感染症対策準備 □市の指定避難所までの避難経路確認
大雨の放時間～2時間前	大雨・洪水警報	高齢者等避難【警戒レベル3】	□高齢者・避難行動要支援者等の避難者の受け入れ活動・避難支援・避難の呼びかけ等の実施
大雨になる	大雨・洪水警報	避難指示【警戒レベル4】	□避難状況の集約【出来る範囲】 □市対策本部に避難者状況を情報提供【TEL・FAX等】 □市からの情報を地域住民に伝達
大雨が一層激しくなる	記録的短時間大雨情報	大津川 桐尾川 氾濫危険情報	□避難状況の確認作業【出来る範囲】 □市からの情報を地域住民に伝達【いすみメール・LINE・ホームページ等で情報入手】 □避難者の対応【指定避難所への誘導含む】
数十年に1度の大雨	大雨特別警報	大津川 桐尾川 氾濫発生情報	□最新の災害被害状況を確認（入手方法：テレビ・ラジオ・市からの情報） □避難が必要にあれば避難行動開始 □県内に伝達を頼む場合は避難所へ避難 ※避難所まで移動が困難な場合は、最近の安全な場所や自宅内の安全な場所へ避難
		緊急安全確保【警戒レベル5】	避難完了 □市からの情報を地域住民に伝達 □命を守るための最善の行動をとる
			□市内の安全な場所での避難の実施 例：垂直避難等（2階等に避難） □命を守るための最善の行動をとる

リンク先	https://www.city.osaka-izumi.lg.jp/kakukano/kousitu/kikikanari/gyoumu/bousai/16656.html	QRコード
------	---	-------